その製品・いつもの習慣

本当に安全？

身近な家庭製品による重大製品事故は、年間1,313件（2025年データ）発生しています。

「まだ使える」「自分は大丈夫」そんな思い込みが、思わぬ火災や事故につながることがあります。



＼気をつけて！／

製品安全について詳しくは

身近な製品の異変を感じたら、点検・交換・買い替えのご検討を！

11月は製品安全総点検月間

経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

製品安全総点検月間　検索

ご存知ですか？

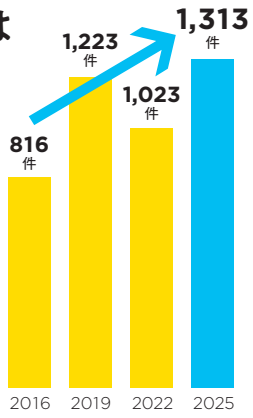
家庭製品の誤使用・不注意による重大製品事故が増えてます

スマホやモバイルバッテリー、ドライヤーなど、毎日使う製品だからこそ異変には気づきにくいもの。
「少し様子が変だけど大丈夫」「まだ使える!」という思い込みが、思わぬ重大製品事故につながることがあります。

重大製品事故件数は増加傾向にあります

1,313件

うち死亡事故は**26件**



火災による重大製品事故

1,166件

※その他43件

電気製品起因の事故 **1,037件**

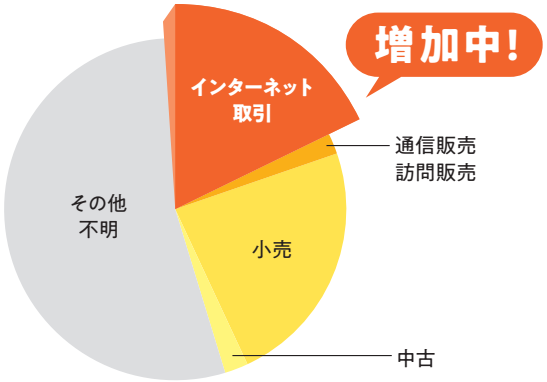
ガス・石油など燃焼器具起因の事故 **86件**

※火災件数1,166件は、火災による死亡事故16件と重傷事故1件の件数を除いています。
火災事故として報告された件数は1,183件です。

実は若い世代でも見逃しがち

リモートワークやインターネット取引の増加で、身近な電化製品や家具による事故が増えています。
身近な製品の小さな“異変”に気づくだけで、まさかの重大製品事故を防ぐことができます。

他にもよくある製品事故事例はこちら



まさかの事故に繋がりやすい、危険サイン

劣化した配線で発火・高熱の場所に保管



点検と確認を！

ストーブから引火



物の接触に注意！

家電の経年劣化



買い替えのご検討を!

※画像提供：NITE

※本データは、2025年度版の調査結果を基に作成しています。
【出典】消費生活用製品安全法に基づいて消費者庁から経済産業省製品安全課に通知された重大製品事故（事故の受付日ベース）を基に経済産業省製品安全課で集計。

オンライン・店頭で購入する際は、PSマークをチェック!

PSマークは製品の種類ごとに定められ、**安全基準に適合した製品に表示されるマークです。**
購入前に確認することで、製品事故のリスク低減につながります。

PSマークについて詳しくはこちら

〈電気用品〉 〈特定製品（消費生活用製品）〉 〈子供用特定製品〉 〈ガス用品〉 〈液化石油ガス器具等〉

身近な製品の異変を感じたら、点検・交換・買い替えのご検討を!